

施設整備計画 事後評価シート(総括票)

この総括票については、計画年度終了時点における施設整備計画(計画を変更しているものについては、最終変更後の計画)に基づいた事後評価の結果を記入すること。
また、その評価を行った施設整備計画を添付すること。

1 公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する目標の達成状況について

耐震性の確保を図る整備

【達成状況】

計画どおり実施できた。
計画したが、一部実施できなかった。
計画したが、すべて実施できなかった。

(耐震化率の目標に対する達成状況)

学校区分	耐震化率(%)	
	目標	達成状況
小学校	30.4	30.4
中学校	30.8	30.8
高等学校		
特別支援学校		
幼稚園		

【所見】

持留小学校の校舎改築事業については、計画どおり実施することができた。危険校舎であった校舎が改築されたことで、耐震性の確保及び風水害による雨漏り等が不安が解消され、また地域住民の災害時の緊急避難場所としても大きな役割を果たすことが期待され、安心安全な学校設備の整備ができた。

学校耐震化については、耐震化優先度調査の結果を基に年次計画を策定し積極的に取り組んでいる。また、学校あり方委員会や地域住民からは、耐震化や学校統廃合の推進の指摘もあり、それらを踏まえ大規模地震による崩壊、倒壊の危険性の高い物については、早期の診断を完了し耐震化に積極的に取り組んでいくこととする。

防犯対策など安全性の確保を図る整備

【達成状況】

計画どおり実施できた。
計画したが、一部実施できなかった。
計画したが、すべて実施できなかった。

【 所見 】

大丸小学校及び野方小学校屋内運動場の天井材(シルバークール)の吹きつけアスベスト(飛散による暴露の恐れ無し)の除去工事を行った。これにより、学校施設におけるアスベスト等による安全対策に万全を期することができた。
一方、アスベスト分析方法の改正に伴い、過去の分析調査分(3項目分析)で、含有無しの結果であった2施設については、早急に再分析調査を実施し、対策を講じる計画である。

教育環境の質的な向上を図る整備

【 達成 状 況 】

計画どおり実施できた。
計画したが、一部実施できなかった。
計画したが、すべて実施できなかった。

【 所見 】

該当無し

施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【 達成 状 況 】

計画どおり実施できた。
計画したが、一部実施できなかった。
計画したが、すべて実施できなかった。

【 所見 】

大崎中学校のプールは、老朽化によるひび割れや傾きが著しく、相当量の漏水があり災害の危険性が危惧されていたが、既設プールの改修工事を行ったことにより、耐震補強の確保、漏水の防止など施設の整備が図られた。

2 事後評価の時期及び方法について

行政内部で事後評価を実施し、本町のホームページ上に公表し、住民から頂いた意見を参考に次期整備計画書に反映させる。

3 事後評価の総合所見及び今後の施設整備計画への反映等について

施設整備計画に計画した事業は、計画どおり実施できた。公立学校施設については、児童生徒が一日の大半を過ごす場所であり、また災害時には地域住民の応急避難場所になる施設でもあることから本町においては、次年度以降について耐震化事業を推進する。

施設整備計画 事後評価シート(個別票)

1 計画名称 大崎町立小中学校施設整備計画

都道府県名	鹿児島県
市町村名	大崎町

2 計画作成主体 大崎町

3 計画期間 平成18～20年度

4 個別事業一覧

この個別票については、計画の変更に伴い取り下げた事業も含めて、施設整備計画に計上したことのある全ての事業を計上すること。

学校名	整備区分	事業番号	事業名	建物区分	構造区分	事業実施の有無	(事業を実施した場合) 竣工年月日	(事業を実施しなかった場合) 実施できなかった理由及び今後の方針	施設整備計画の変更		備考
									事由	変更年月日	
持留小学校		14	危険改築	校	W		平成20年2月28日				
持留小学校		17	不適格改築	校	W		平成20年2月28日				
大崎中学校		60	学校水泳プール耐震補強	—	—		平成19年3月5日				
大丸小学校		29	大規模改造(アスベスト)	校	R		平成19年3月20日				
野方小学校		29	大規模改造(アスベスト)	校	R		平成19年8月28日				
持留小学校		1	小校	校	W		平成20年2月28日				